

日本と地域の30年後までの将来推計人口

— 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 —

26.4.29 (25.10.26) 矢島義恭

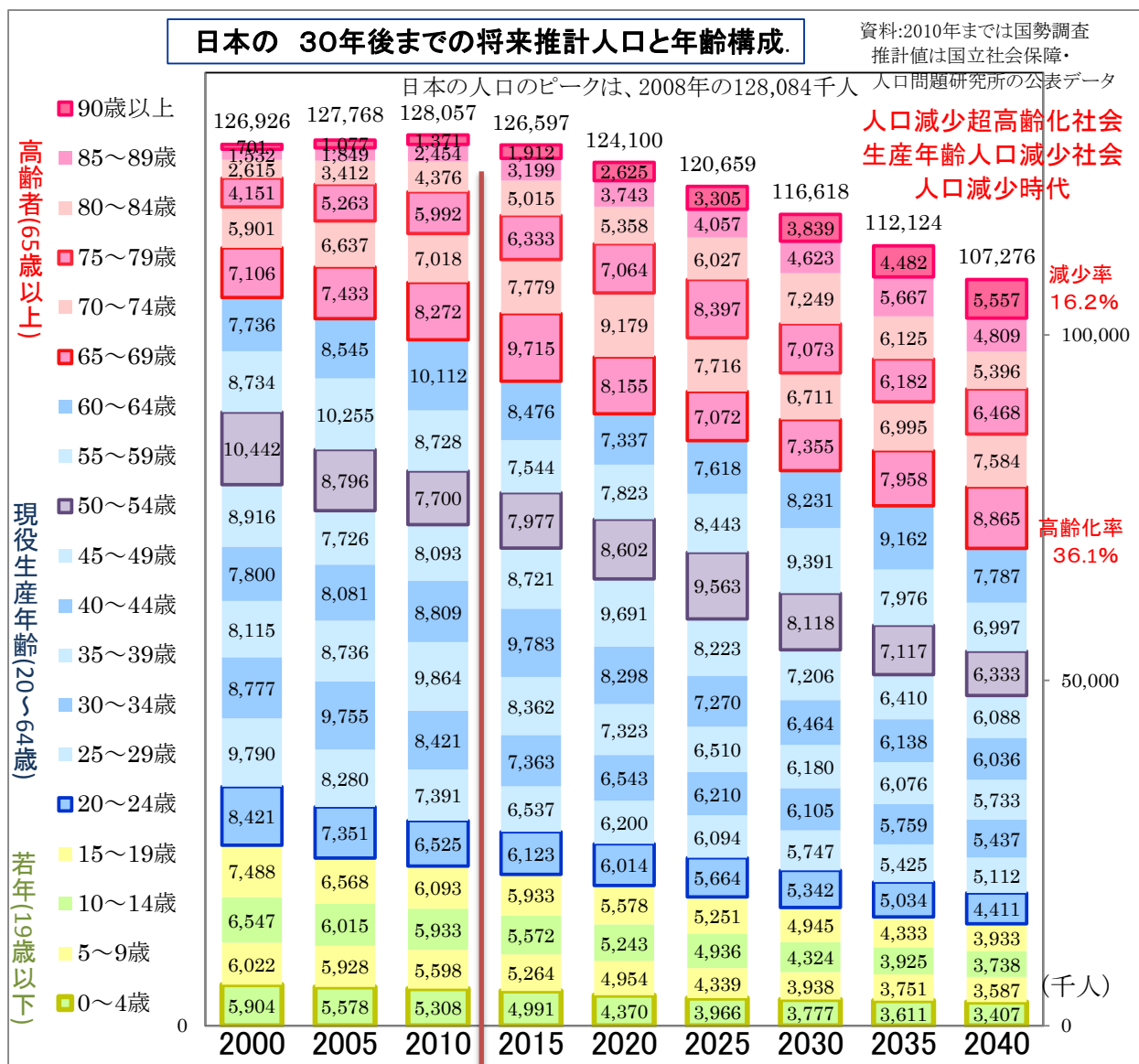
1 生産年齢人口・若年人口が激減して、人口減少がすすむ

- ① **生産年齢人口**は人口減少以上に激減 2010年 7,564 万人が 30年後に 5,393 万人へと **29%減少**
- ② 出生数と**若年人口**の減少 2010年 2,293 万人が 30年後に 1,467 万人へと **36%減少**
- ③ 人口のピークは2008年 12,808 万人、2020年 **3%減** 12,410 万人、30年後 10,728 万人の **16%減少**

2 高齢者人口は増加して 超高齢化がすすむ

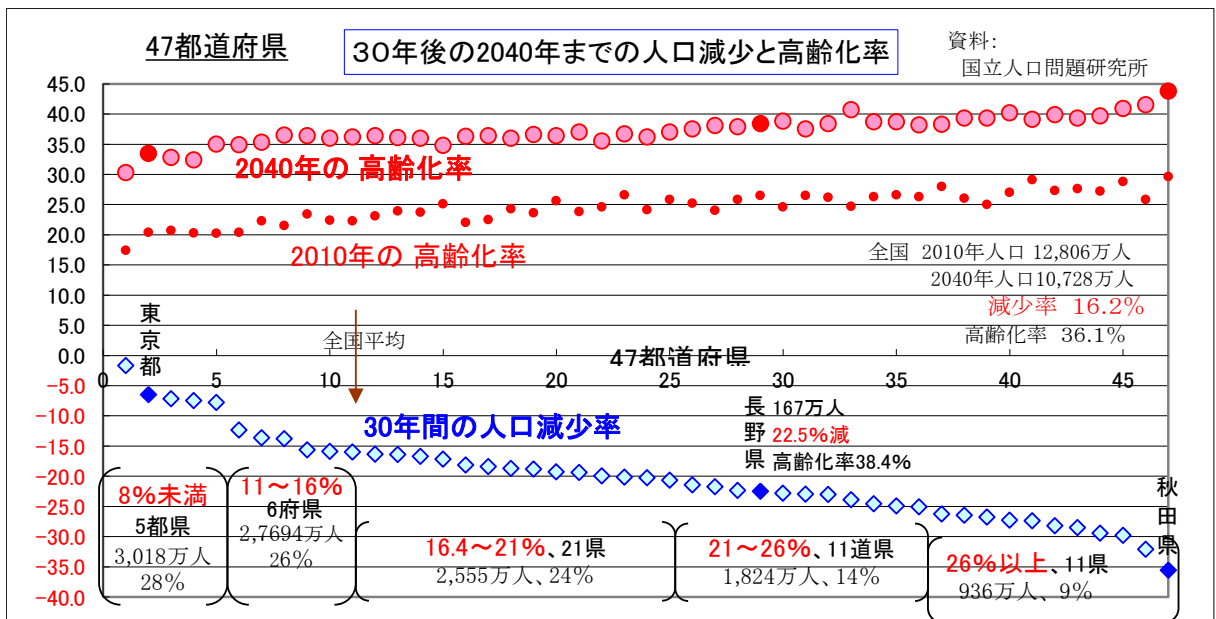
- ① **高齢者人口**の増加 2010年 2,948 万人が 30年後に 3,868 万人へと **31%増加**
なかでも**後期高齢者**が激増 2010年 1,419 万人が 30年後に 2,230 万人へと **57%増加**
特に85歳以上の高齢者の激増 2010 383 万人が 30年後に 1,037 万人へと **2.71倍に増加**
- ② **要介護認定者**の激増(減少社会№ No.2) 2010年 510 万人が 30年後に 969 万人へ **1.94倍に増加**
- ③ **高齢者比率**が激増して超高齢化社会がすすむ 2010年 **23.0%**が 30年後には**高齢者比率 36.1%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の**比率が激変** 2010年 1人対:2.6人、**30年後 1人対 1.4人**

お神輿型 → 騎馬戦型 → 肩車型



超高齢化は全国的に急激に進む 人口減少は地方で急激に、大都市圏ではゆっくり

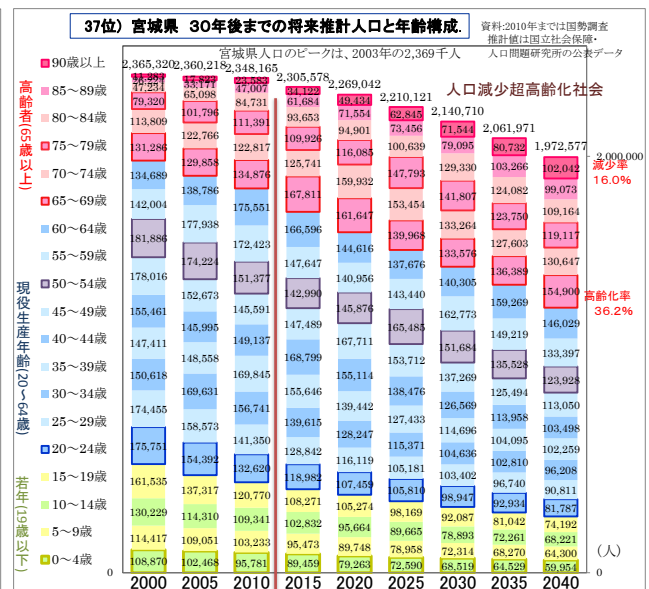
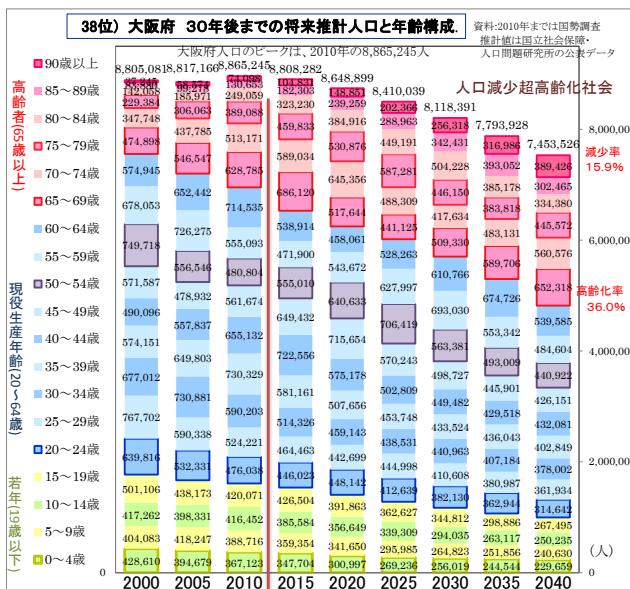
| 順位 | | 2040年の人口 | 30年間の人口減少率 | 2040年高高齢化率 | 順位 | | 2040年の人口 | 30年間の人口減少率 | 2040年高高齢化率 | 順位 | | 2040年の人口 | 30年間の人口減少率 | 2040年高高齢化率 |
|----|-----|-------------|------------|------------|----|-----|-----------|------------|------------|----|-----|-----------|------------|------------|
| | 全国 | 107,276,000 | -16.2 | 36.1 | 32 | 栃木 | 1,643,368 | -18.1 | 36.3 | 16 | 富山 | 841,431 | -23.0 | 38.4 |
| 47 | 沖縄 | 1,369,408 | -1.7 | 30.3 | 31 | 茨城 | 2,422,744 | -18.4 | 36.4 | 15 | 北海道 | 4,190,073 | -23.9 | 40.7 |
| 46 | 東京 | 12,307,641 | -6.5 | 33.5 | 30 | 三重 | 1,507,656 | -18.7 | 36 | 14 | 新潟 | 1,790,918 | -24.6 | 38.7 |
| 45 | 滋賀 | 1,309,300 | -7.2 | 32.8 | 29 | 群馬 | 1,629,974 | -18.8 | 36.6 | 13 | 愛媛 | 1,074,618 | -24.9 | 38.7 |
| 44 | 愛知 | 6,855,632 | -7.5 | 32.4 | 28 | 熊本 | 1,467,142 | -19.3 | 36.4 | 12 | 鳥取 | 441,038 | -25.1 | 38.2 |
| 43 | 神奈川 | 8,343,495 | -7.8 | 35 | 27 | 静岡 | 3,035,359 | -19.4 | 37 | 11 | 山口 | 1,069,779 | -26.3 | 38.3 |
| 42 | 埼玉 | 6,304,607 | -12.4 | 34.9 | 26 | 佐賀 | 680,203 | -20.0 | 35.5 | 10 | 長崎 | 1,048,728 | -26.5 | 39.3 |
| 41 | 福岡 | 4,379,486 | -13.7 | 35.3 | 25 | 大分 | 955,424 | -20.2 | 36.7 | 9 | 福島 | 1,485,158 | -26.8 | 39.3 |
| 40 | 千葉 | 5,358,191 | -13.8 | 36.5 | 24 | 岐阜 | 1,659,525 | -20.2 | 36.2 | 8 | 徳島 | 571,016 | -27.3 | 40.2 |
| 39 | 京都 | 2,223,586 | -15.6 | 36.4 | 23 | 宮崎 | 900,508 | -20.7 | 37.0 | 7 | 島根 | 520,658 | -27.4 | 39.1 |
| 38 | 大阪 | 7,453,526 | -15.9 | 36 | 22 | 福井 | 633,236 | -21.5 | 37.5 | 6 | 和歌山 | 719,427 | -28.2 | 39.9 |
| 37 | 宮城 | 1,972,577 | -16.0 | 36.2 | 21 | 奈良 | 1,096,162 | -21.7 | 38.1 | 5 | 山形 | 835,554 | -28.5 | 39.3 |
| 36 | 兵庫 | 4,673,709 | -16.4 | 36.4 | 20 | 香川 | 773,076 | -22.4 | 37.9 | 4 | 岩手 | 938,104 | -29.5 | 39.7 |
| 35 | 広島 | 2,391,476 | -16.4 | 36.1 | 19 | 長野 | 1,668,415 | -22.5 | 38.4 | 3 | 高知 | 536,514 | -29.8 | 40.9 |
| 34 | 石川 | 974,370 | -16.7 | 36 | 18 | 山梨 | 666,155 | -22.8 | 38.8 | 2 | 青森 | 932,028 | -32.1 | 41.5 |
| 33 | 岡山 | 1,610,985 | -17.2 | 34.8 | 17 | 鹿児島 | 1,314,057 | -23.0 | 37.5 | 1 | 秋田 | 699,814 | -35.6 | 43.8 |



◇ 全国平均とほぼ同じ「人口減少」と「超高齢化」の府県

38位 大阪府 人口減少率 15.9% 37位 宮城県 人口減少率 16.0%

高齢化率 36.0% 高齢化率 36.2%



減少率1位) 秋田県の30年後までの将来推計人口

— 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 —

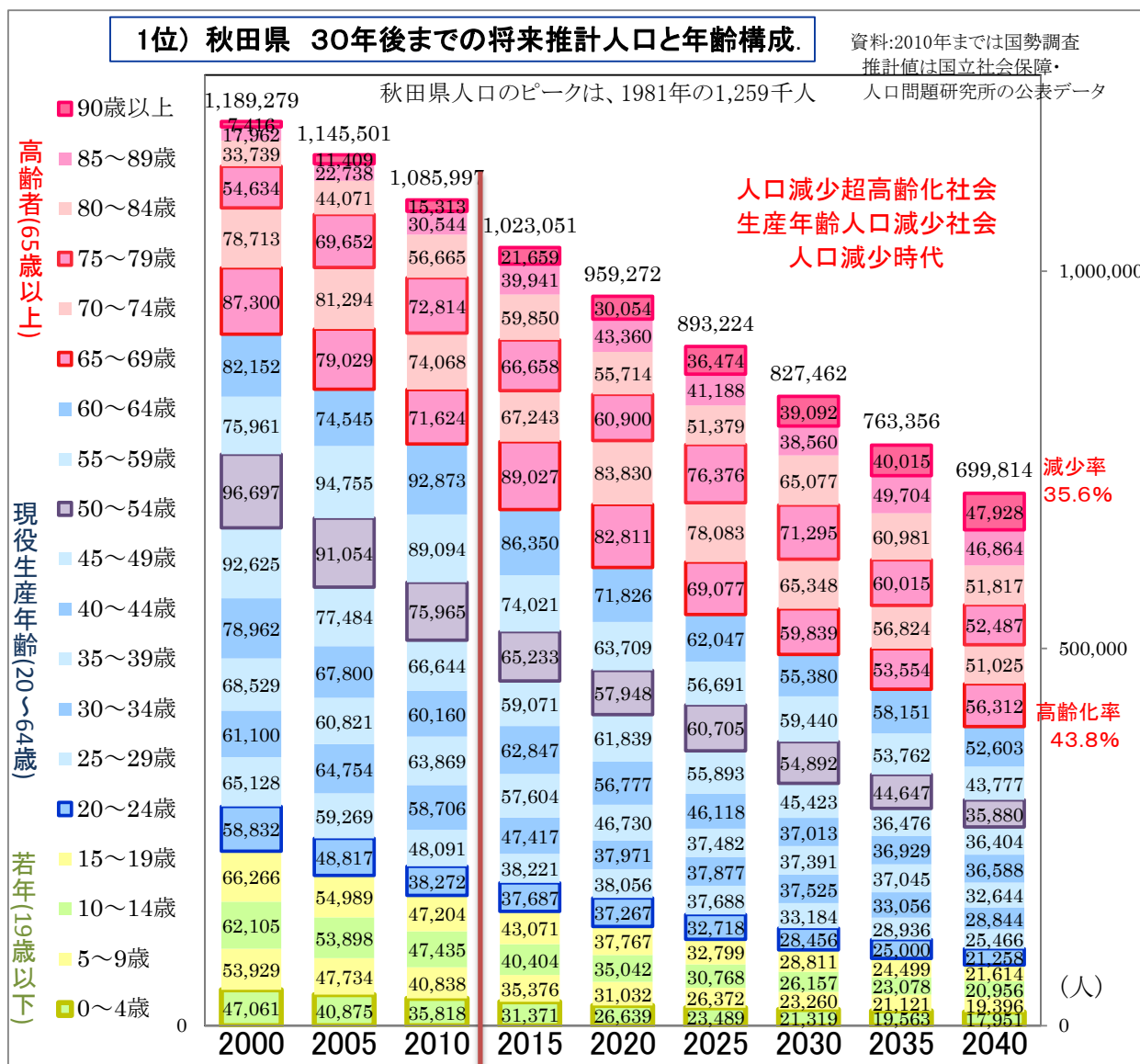
1 生産年齢人口・若年人口が激減して、極めて高率な人口減少がすすむ

- ① **生産年齢人口**は人口減少以上に激減 2010年 593,674人が 30年後は 313,464人へと **47%減少**
- ② 出生数と**若年人口**の減少 2010年 171,295人が 30年後には 79,917人へと **53%減少**
- ③ すでに30年間減少が続き、30年後の**減少率**は全国16%に対し秋田県は**35.6%減少**と極めて高率

2 高齢者人口は増加して 超高齢化がすすむ

- ① **高齢者人口**の増加、 2010年 321,028人 2020年には**11%増加**しその後はゆるやかに減少
2040年には 306,433人となり、生産年齢人口 313,464人と**ほぼ同数**
- 特に**85歳以上の高齢者**が激増 2010年 45,857人が 30年後は 94,792人へ**2.07倍**に増加
- ② **要介護認定者**の激増(人口減少社会[※] No.2) 右肩上がりに増加して 30年後に**1.44倍**に増加
- ③ **高齢者比率**が激増して超高齢化社会が進行 2010年 **29.6%**が 30年後には**高齢者比率 43.8%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の**比率が激変** 2010年 1人対 1.8人、30年後 **1人対 1.0人**

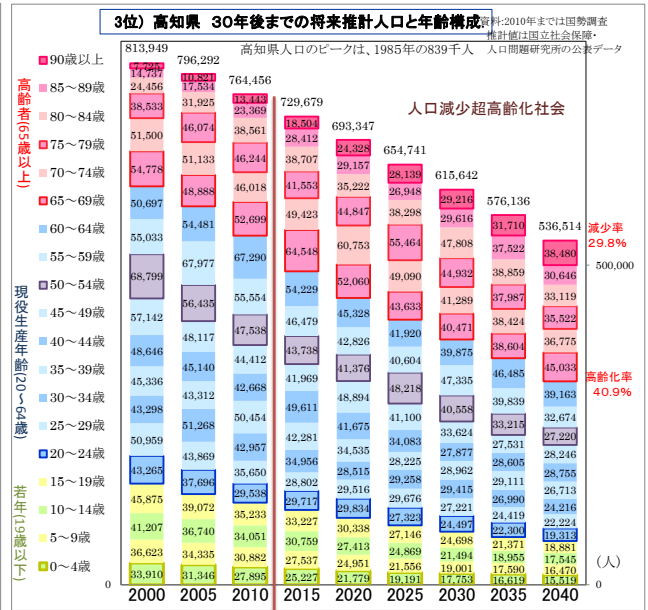
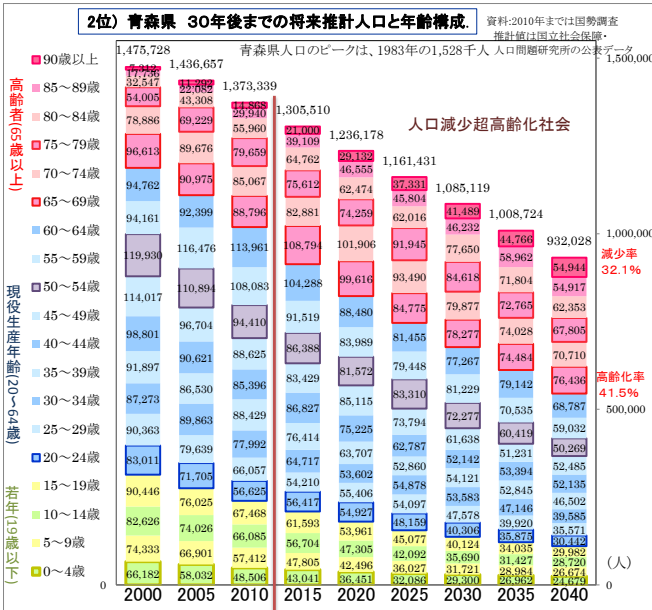
お神輿型 → 騎馬戦型 → 肩車型



◇ 地方の、秋田県同様の人口の激減・超高齢化の県

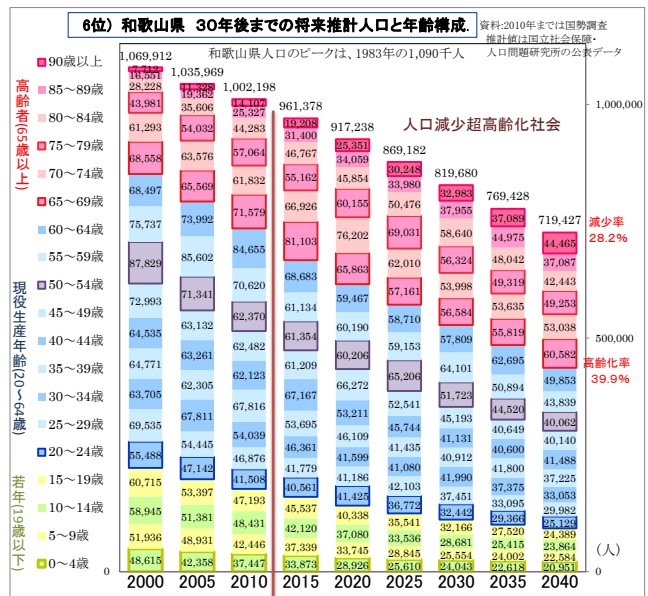
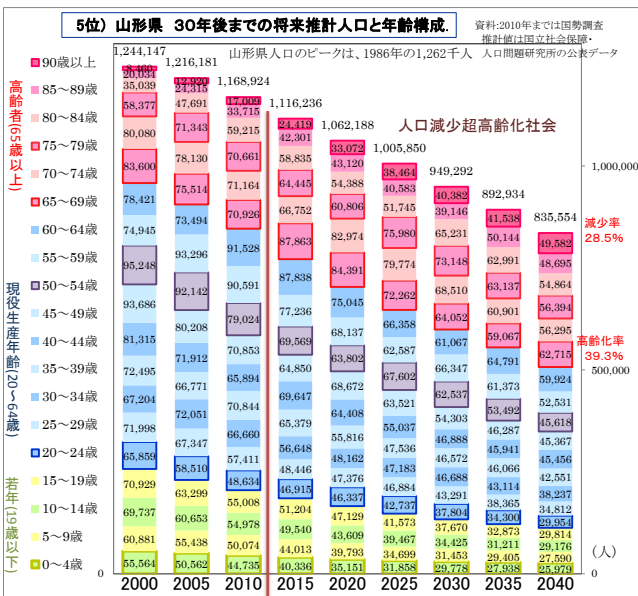
2位 青森県 人口減少率 32.1%
高齢化率 41.5%

3位 高知県 人口減少率 29.8%
高齢化率 40.9%



5位 山形県 人口減少率 28.5%
高齢化率 39.3%

6位 和歌山県 人口減少率 28.2%
高齢化率 39.9%



減少率 19 位) 長野県の30年後までの将来推計人口

— 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 —

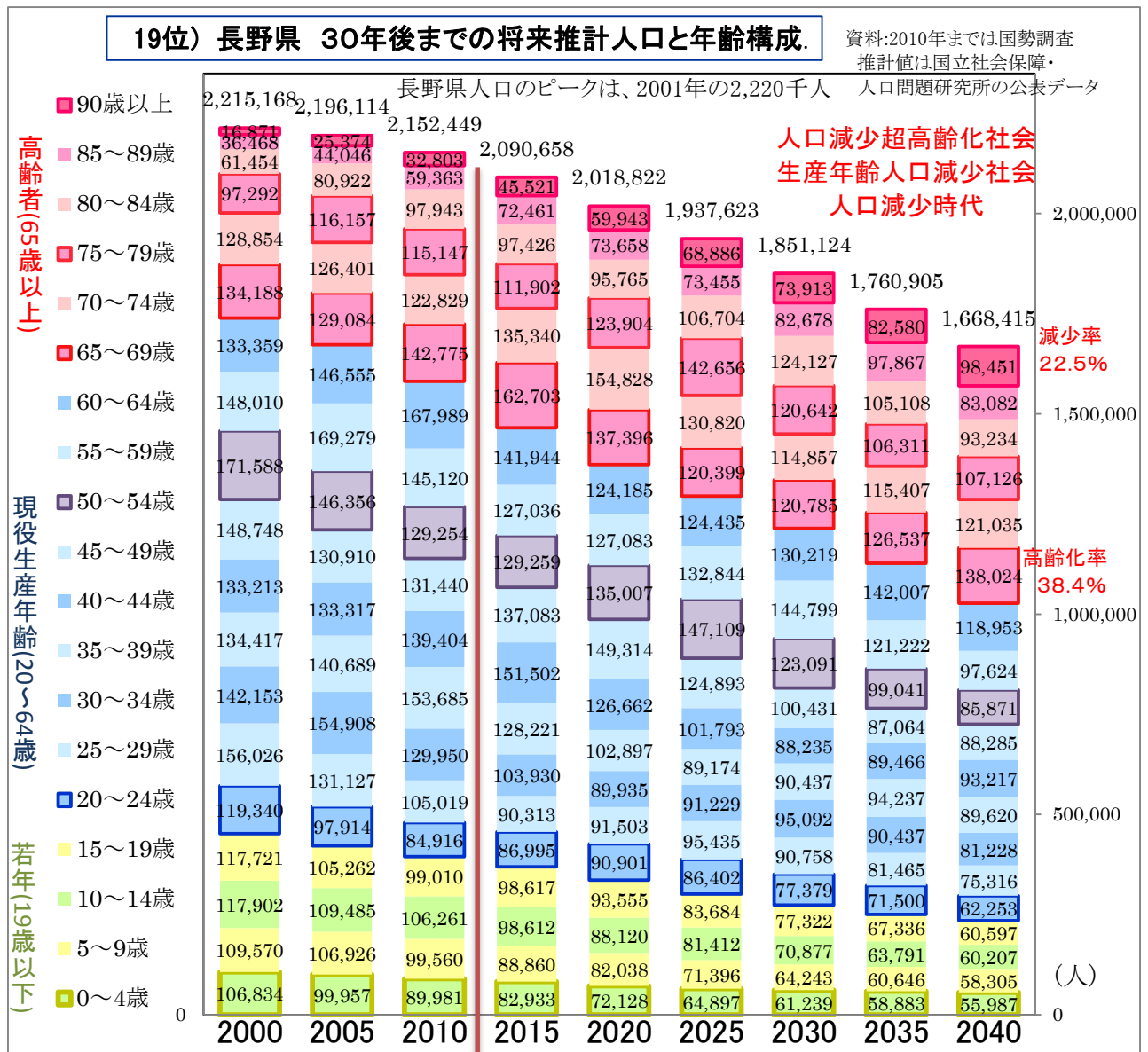
1 生産年齢人口・若年人口が激減して、人口減少がすすむ

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 1,186,777 人が 30年後は 792,367 人へと **32%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 394,812 人が 30年後には 235,096 人へと **40%減少**
- ③ 人口減少期に入っており、30年間の**減少率**は全国の 16%に対し長野県は **22.5%**とかなり高率

3 高齢者人口は増加して 超高齢化がすすむ

- ① 高齢者人口の増加、2020年には **13%増加**しその後は横ばい
特に 85 歳以上の高齢者が激増 2010年 92,166 人が 30年後は 181,533 人へと **1.97 倍に増加**
- ② 要介護認定者の激増(人口減少社会^ホ No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.53 倍に増加**
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 **26.5%**が 30年後には**高齢者比率 38.4%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の**比率が激変** 2010年 1 人対 2.1 人、30年後 **1 人対 1.2 人**

お神輿型 → 騎馬戦型 → 肩車型



減少率 46 位) 東京都の30年後までの将来推計人口

— 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 —

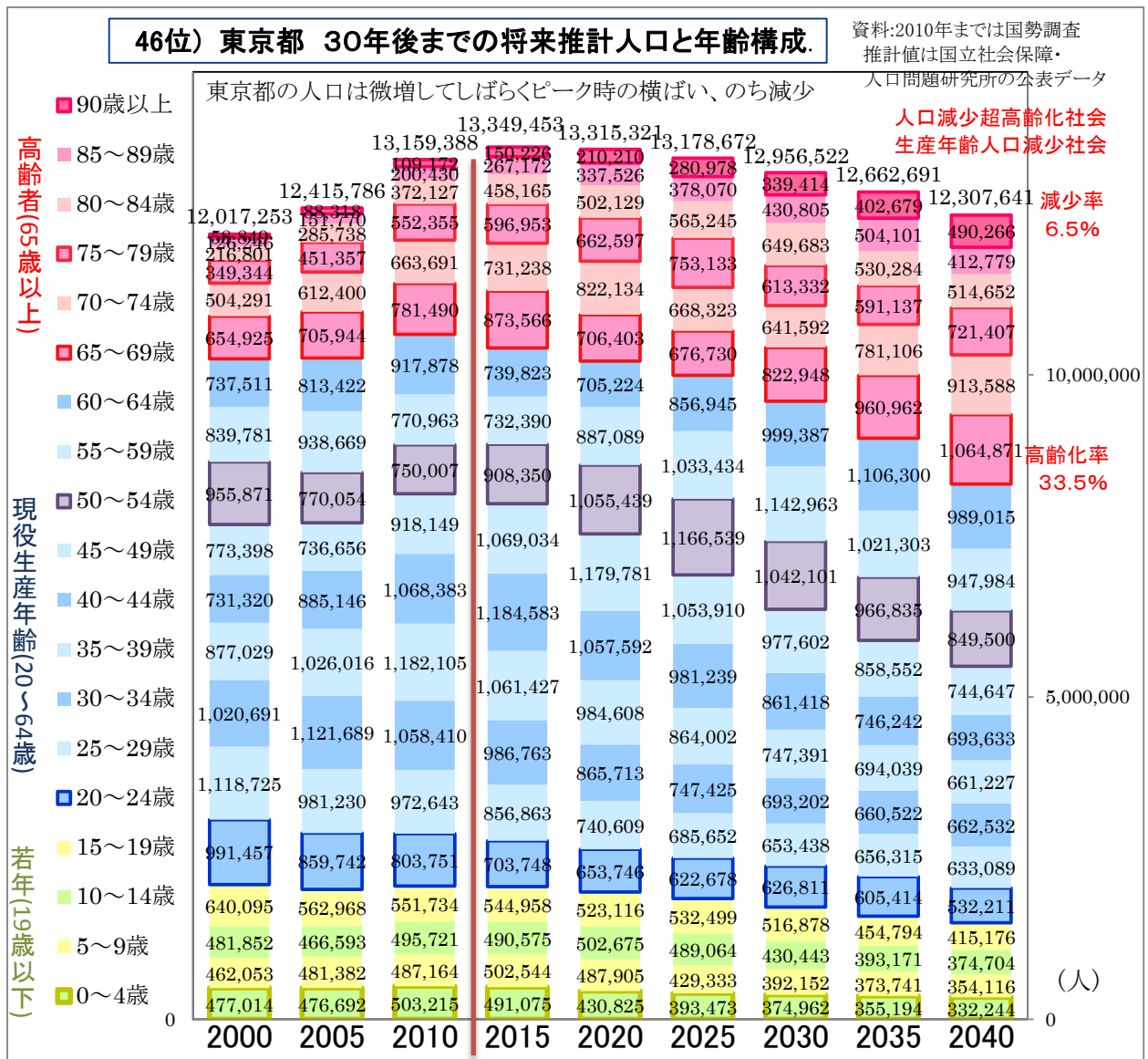
1 生産年齢・若年人口の減少が始まるが、人口はしばらく微増横ばいを続け やがて減少へ

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 8,442 千人が 30年後に 6,714 千人へと **20%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 2,038 千人が 30年後には 1,476 千人へと **28%減少**
- ③ 人口は微増横ばいで 10年後は 13,315 千人で **1.2%増**、30年後 12,308 千人で **6.5%減少**と小さい
- ④ 若者などの大都市流入により、30年間の全国の**人口減少率** 16%に対し東京都は **6.5%減少**と低率

2 高齢者人口は増加して 超高齢化がすすむ

- ① 高齢者人口の増加、 2020年には21%増加し、その後も急増 30年後は **54%の増加**
特に **85歳以上高齢者人口**の激増 2010年 309 千人が 30年後には 903 千人へと **2.92倍に増加**
- ② 要介護認定者の激増(減少社会[※] No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **2.12倍に増加**
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 **20.4%**が 30年後には**高齢者比率 33.5%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の**比率が激変** 2010年 1人対 3.2人、30年後 **1人対 1.6人**

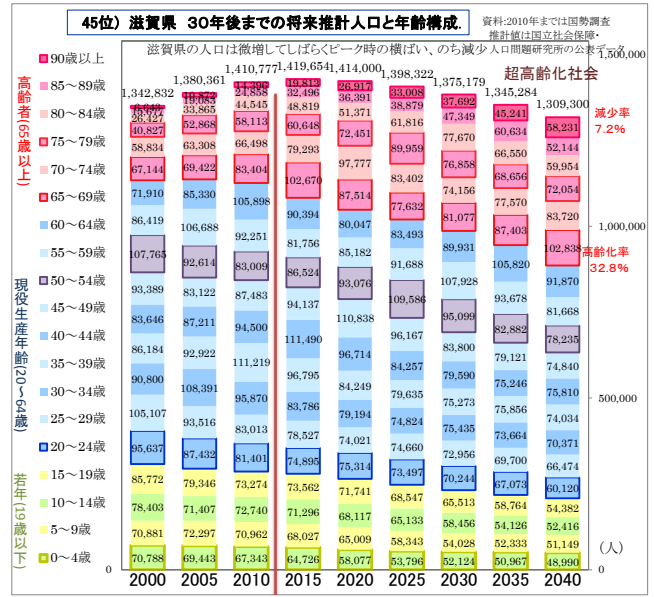
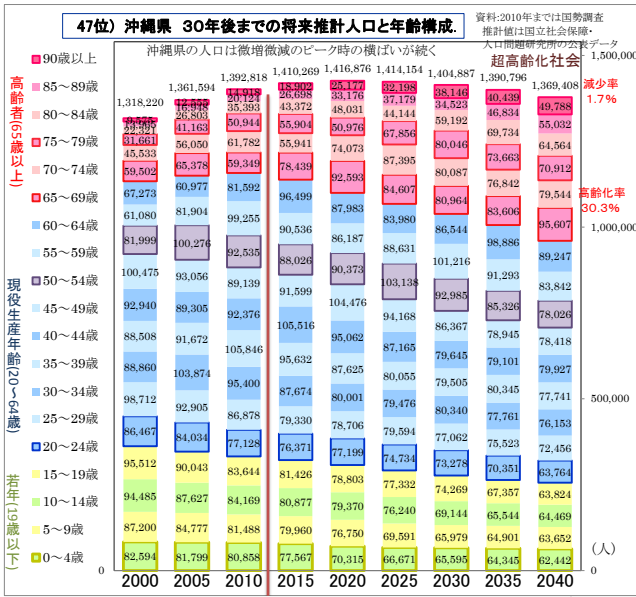
お神輿型 → 騎馬戦型 → 肩車型



◇人口微増微減の、東京大都市圏や地方の大都市県

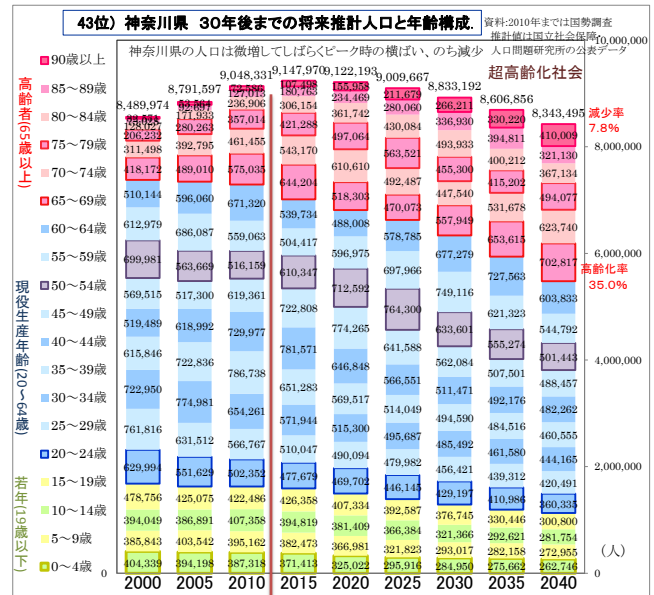
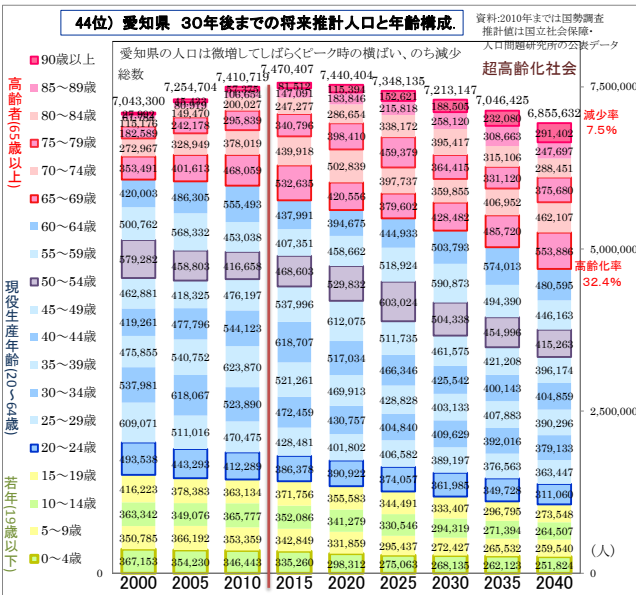
47位 沖縄県 人口減少率 1.7%
高齢化率 30.3%

45位 滋賀県 人口減少率 7.2%
高齢化率 32.8%



44位 愛知県 人口減少率 7.5%
高齢化率 32.4%

43位 神奈川県 人口減少率 7.8%
高齢化率 35.0%



◇人口減少率が全国平均 16.2%以下の都府県は11都府県でその人口は総人口の半分を占める。殆どが東京大都市圏、京阪神大都市圏、地方でも大都市を持つ県などである。

- [内訳] 東京大都市圏で、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県
京阪神大都市圏で、京都府、大阪府 近郊の滋賀県 (神戸の兵庫県は 16.4%)
大都市名古屋の、愛知県
大都市福岡の、福岡県
大都市仙台の、宮城県
例外的な 沖縄県